

日本語を母語としない親を  
持つ子どもたちへの支援事業  
【まなぼう会】  
坂戸地区更生保護女性会

坂戸市提案型協働事業報告  
令和5年1月26日（木）15:00-16:40

## ① 事業の目的

◆日本語を母語としない親を持つ子どもたちが、日本社会に適応し、健全に成長できるよう、日本語および学習支援を行う。

◆子どもがボランティアと一緒に学ぶことで、安心でき、自信をつけ、学ぶ楽しさを体験してもらう。

◆親子参加イベントを開催し、日本人と外国語を母語とする親御さんとの多文化交流の場を提供する。

## ②-1 事業内容

児童の**宿題のサポート**、かるたやカードでの日本語単語学習、教科書の音読、絵本の読み聞かせなどを通じて、苦手な科目を学んでもらう。

■令和4年9月1日より令和5年2月26日までの毎週木曜日、15:00–17:00の2時間で全22回を設定。

■場所は泉町ヤオコーそばの「北坂戸コミュニティサロン ぽんわか」を無償で提供頂く。

■坂戸支部の更生保護女性会員の全26名の協力で当番表を作成。任意参加の日本語教室（坂戸市内）の先生方も参加。活動マニュアル、チェックシート、ネームプレート（更女会員と日本語教室先生用）の作成の事前準備。まなぼう会専用のグループラインを作り連絡網の整備。

協力団体：  
 千代田にほんごの会  
 日本語教室けやき  
 北坂戸日本語ボランティア  
 日本語サロンつどい  
 公益社団法人 国際日本語普及  
 協会AJALT 松尾恭子氏

一般財団法人 言語交流研究所  
 ヒップファミリークラブ

更生保護女性会



生涯支援委員会（名称 4 年度）

**まなぼう会**



対象 〇〇日本語母国語としない難持児童（小学生）とその家族  
 時間 〇〇15:00-17:00（15分前集合、室内準備あり）  
 場所 〇〇北坂戸まなぼう会  
 住所 京都市東区 3-3-8 マンションいずみ 1 階

内容 〇〇①児童への支援：学習支援、放課後遊戯など他本を読んだりする。  
 〇〇親への支援：親子イベントなどを通じて、外国人家庭全体の支援につながる  
 ことにより、コミュニケーション不足による孤立などを解消し、多文化共生  
 についての学びを日本人家庭も体験できる。  
 ②全体：雑談もしてもらい、お留守番してもらいます。日本語教室はゆきさんが、  
 手伝いに来てくれます。※活動開始前まで17時開会です。

日付	担当者名	備用
9月1日（木）	田中、伊藤	
8日（木）	栗田（1）、森（1）	
15日（木）	町田（1）、西崎（1）	
22日（木）	田村（1）、渡辺（2）	
29日（木）	志保（2）、渡辺（2）	
10月6日（木）	小林（3）、渡辺（3）	
13日（木）	高木（3）、百合本（4）	
20日（木）	西内（4）、新藤（4）	
27日（木）	宇津木（5）、川島（5）	
11月10日（木）	岡山（5）、内山（5）	
17日（木）	五味（5）、井上（5）	
24日（木）	小泉（5）、安藤（5）	
12月1日（木）	西村（5）、小林（5）	
8日（木）	田中、伊藤	
15日（木）	栗田（1）、森（1）	
22日（木）	町田（1）、西崎（1）	
1月12日（木）	田村（1）、渡辺（2）	
19日（木）	志保（2）、渡辺（2）	
26日（木）	小林（3）、渡辺（3）	
2月2日（木）	高木（3）、百合本（4）	
9日（木）	西内（4）、新藤（4）	
16日（木）	宇津木（5）、川島（5）	

# 泉町 ぽんわかさん



入口



通り沿い

## ②-2 事業内容

- コロナ禍の折、検温、手指の消毒用物品の準備。
- 学ぼう会お誘いのチラシの作成
- 10月23日（日曜）親子で楽しめるイベントの実施 お誘いのチラシ作成
- 小学校経由で、当該児童に手渡しした。
- 親子イベントを、多言語で仲良くなろうのヒップファミリークラブさんに学童保育所にて実施していただく。

日本語を母国語としない親を持つ児童（小学生）さんと  
その家族さん向けに (^^^)  
更生保護女性会主催の「まなぼう会」が始まります！

### できること



「まなぼう会」では、  
オコジョのようなおばちゃんやおばあちゃんたちが  
宿題をみてくれたり、絵本など読んでくれたり、  
その他できることをお手伝いしてくれます。  
協力 坂戸市日本語教室の皆さん

### 開催日+時間

2022年9月1日（木）～2023年2月16日（木）  
毎週木曜日（月に3回だけの月もあります。）  
放課後、午後3時から5時まで

(^o^)



### 場所



北坂戸ほんわか (^^)  
坂戸市泉町3-3-8 マンションいずみ 1階  
（ぶんぐまるさんの道徳をはさんだ向かい側）

更生保護女性会（法務省）  
マスコットキャラクター  
オコジョさん



坂戸地区更生保護女性会・坂戸支部

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や  
子どもたちの健全育成のための支援活動などを行う  
ボランティア団体です。

連絡先：更生保護女性会 田中 080-3159-1962・メール：manabo20220901@gmail.com



まなぼう  
会お誘い  
のチラシ

小学校に  
提出した  
が訂正依  
頼があり

市民生活  
課にて訂  
正して頂  
きました。

「まなぼう かい」で いっしょに  
あそんだり、べんきょうをしたり しましょう！

### できること



「まなぼう かい」では、

- ・しゅくだいを みてもらえます。
- ・えほんなどを よんでもらえます。

### ひにち・じかん

2022/09/01～2023/02/16

まいしゅう もくようび 15:00～17:00



### ばしょ



「きたさかど ほんわか」

じゅうしょ：さかどし いずみちよう 3-3-8  
まんしょん いずみ 1かい  
（「ぶんぐまる」さんの むかいがわ）

れんらくさき

TEL: 080-3159-1962 (たなか)

Mail: [manabo20220901@gmail.com](mailto:manabo20220901@gmail.com)

だんたいの なまえ：さかどちく こうせいほごじよせいikai さかどしほ

親子イベントお誘いのチラシ

小学校経由でお渡し頂いた。

\* 審査員からのコメントにおいて、学童保育とも連携し、子供達の交流を広げる機会の提供があったので、親子イベントは学童保育所を利用した。

コロナ禍の為、合流開催は出来なかった。

あつまれ!  
かい  
おやこで あそぼう会

かい  
まなぼう会のスタッフと  
ゲーム、ダンス、クイズで  
たのしくあそぼう!

むりょう  
無料の  
おかし、のみもの  
あります!

ひにち: 10/23 日曜  
じかん: 10:00~11:30  
ばしょ: 学童保育所 はらっばクラブ

まま  
パパやママと  
いっしょに  
きてね!

主催: まなぼう会 (田中 080-3159-1962)  
協力: ヒッポファミリークラブ

10月23日学童はらっぱクラブさんにて  
親子イベント開催！ 多言語で遊ぶ、  
ヒッポファミリークラブさん18人協力。



### ③協働関係課との連携内容

- ・ 事業内容を桜小学校に説明し、連携体制を調整いただいた。
- ・ 市広報に、学習支援内容を掲載し、周知を図っていただいた。
- ・ 小学校向けにチラシを作成し、市民生活課経由で提出したところ、漢字が多くルビがふられていないため、親御さんが読めないと学校より指摘を受け、ひらがなだけで、判りやすい表現の訂正版を作成いただいた。
- ・ 日本語学習支援者スキルアップ研修「地域の教室の役割と初心者への対応」を受講し、日本語学習支援について学ぶことが出来た。また、市内の日本語教室の方々との連携の機会を得た。（後日この講座の講師が活動する子ども日本語学習クラブを訪問し指導の実際を見学した。）

## ④-1 成果及び効果

転入してきたばかりの片柳小学校の児童がおり、北坂戸日本語教室で声かけをしたところ、親御さんの同意がとれ合計3回、参加して頂きました。

日本語教室けやきの日本人ボランティアさんが、学習支援をしてくださり、更生保護女性会員は、教室管理と出来たことを称賛する役割を務めました。とても笑顔がかわいらしく、算数が得意でしたが、九九の日本語読みに苦労していた。また、漢字の書き順が理解できていなかったなので、ドラえものの九九の歌と漢字書き順の、漫画を貸与し喜ばれた。

夕方5時になると薄暗い為、会員が送迎をした。

桜小学校のインターナショナルアシスト事業を受けている児童は、残念ながら参加してくれなかった。

## ④-2 成果及び効果

参加してもらえない理由について、直接接触をしていただいた桜小学校にお聞きしたところ、以下の回答を得ました。

①どのような対応をとったか

日本語指導の対象となっている十数名の児童に対し、チラシを配布した。

②どのような反応だったか

チラシを配布された時点で児童は「私は行かない。」という反応が多かった。

関わっているインターナショナルアシストなどからも良い活動だからぜひ参加すると良いよと勧めてもらったりもしたが、前向きではなかった。

考えられる理由としては、子どものみで参加するのは難しさが有、その保護者についても働いていて忙しかったり、普段人間関係のない人たちの所に参加するのは難しいと思ったりしていることがあげられる。

現在、本校の日本語指導を受けている児童は日本語のコミュニケーションに困っているというよりも、日本語での勉強に困っていて、それを補っている場合が多い。保護者も日本語のコミュニケーションに困っているとはあまり思っていない様子で、日本に慣れると、勉強を身につけさせるため、塾等に通わせようとする家庭が多い。

## ④-3 成果及び効果

### ③今後期待する事

保護者の理解が進まないと児童の参加へはなかなかつながらないと考える。

チラシのみではなかなか難しさがある。

外国籍の保護者が困っている場面としては、小さい子どもが医者にかからないといけなときの通訳などである。

そういった対応への手助けできたりする中で、関係ができてくれば、こういった取り組みへの参加も出てくると思います。

転入してきたばかりの片柳小学校の児童 ガウデル君



## ⑤課題及び改善点

来てほしい児童たちへのアプローチは小学校経由で行われている。先生方は、できる限りのアプローチをしてくださったが、参加には至らなかった。

親御さんは子どもは日本語をちゃんと話せると思っているようだ。

先生がたは、児童たちの日本語力には、支援が必要であると感じている。親御さんと先生方の認識のずれが生じているようだ。

親子参加イベントは、ヒッポファミリークラブさんによる多言語での楽しい取組で、言語に優劣はなく、すべての言葉が大切で、ゲームをしながら聞いて覚えるというもので、本当に参加してもらえればというものだった。

なお、年明けはコロナとインフルエンザの流行が予想されるため、今後の活動はかなり厳しいと判断し、令和5年1月と2月は休止することにした。

## ⑥決算書（見込み：12月末現在）

日付	項目	支出	概要
9月3日	印刷代	390	チラシ等印刷
9月5日	備品	567	ネームホルダー
9月7日	印刷代	430	報告書、ポスター等印刷
9月7日	文具	1,245	トランプ、カード、パズル、筆記具等
10月13日	インク代	2,336	プリンターインク
10月22日	飲み物・お菓子	4,870	10/23親子イベント
10月23日	会場費	500	10/23親子イベント はらっぱクラブ
10月23日	飲み物	702	10/23親子イベント
	合計	11,040	